

2022年 4月19日

都市の三次元デジタルツイン環境を提供する「デジタルシティサービス」の 利用料引き下げと2022年度無償試験利用に関するお知らせ

(一社) 社会基盤情報流通推進協議会
代表理事 関本義秀

拝啓 貴下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会 (AIGID) (※1) では、これまでのG空間情報センター (※2) 等に加え、昨今のスマートシティ等、都市全体の高度管理のニーズを受け、リアルタイムなデジタルツイン環境を提供していく「デジタルシティサービス」 (※3) (図1) を2020年6月に東京大学生産技術研究所「デジタルスマートシティイニシアティブ」社会連携研究部門 (※4) と連携してリリースいたしました。

「デジタルシティサービス」は、自治体の単位を基本とした各地域の多様なデータをG空間情報センターと連動した形で、Web上で保管、管理するとともに、公共施設・インフラ施設等の多様なデータ3D地図上で可視化等を一体的に行っていくものです。標準的なデータ形式を搭載可能にするとともに、基盤となる3D地図は、株式会社ゼンリンが提供する3次元建物形状データのほか、国土交通省都市局が進める、日本全国の3D都市モデルの整備・オープンデータ化プロジェクト (「Project PLATEAU」 (※5)) に基づいた地図データを利用することも可能です。

このたび、デジタルシティサービスのサービス利用料は、AIGIDが主催し、多くの自治体が参加する「デジタルスマートシティ研究会」 (※6) での議論を経て、提供価格を大幅に引き下げました。また、2022年度限定で、研究会のWGを通じて、利用状況をフィードバック頂ける自治体に対しては、無償試験利用を行いますので (2022年5月27日締切)、利用を検討頂ければと思います。

引き続き、弊協議会及びG空間情報センターの利用いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

●本件に関するお問い合わせ先

(一社) 社会基盤情報流通推進協議会事務局 E-Mail: cpod-info@aigid.jp TEL: 03-6455-1845

■ デジタルシティサービスの利用料金

(消費税込み)

サービス区分	分類	都道府県 政令市	市町村	備考
梅 (エントリー価格)	初期導入費 (1年目)	400万円 +オプション料金※A	<人口：5万人以上> 200万円+オプション料金	—
			<人口：5万人未満> 100万円+オプション料金	
	運用費 (2年目以降)	200万円/年	<人口：5万人以上> 100万円/年	・標準搭載可能なデータ以外の追加を行う場合は、別途見積もり対応となります。
			<人口：5万人未満> 50万円/年	
竹 (県下共同利用※B)	初期導入費 (1年目)	1,000万円 + オプション料金		・都道府県下の複数の市町村がまとめて申し込みを行うことで、安価にご利用いただくことが可能です。
	運用費 (2年目以降)	500万円/年		
松 (BIDダッシュボード付き)	初期導入費 (1年目)	未定	未定	・都市の状況を数値化したBIDダッシュボードが利用可能となります。BIDダッシュボードは、現在開発中です。
	運用費 (2年目以降)	未定	未定	

※A：標準搭載可能なデータ以外の追加を行う場合は、オプション料金が発生し、別途見積もりとなります。

※B：県下共同利用とは、同一県内の複数の市町村が共同で申し込みを行う場合です。

※C：ゼンリンの建物データは、デジタルシティサービス上での可視化のみの利用となり、データを個別に利用する場合は、別途料金がかかります。

■ デジタルシティサービスで標準搭載可能なデータ

データ種類	形式	表示ズーム レベル	備考
航空写真	GeoTIFF	11～18	その他の画像形式は、座標系が判別できるファイルを必ずご用意ください
公共施設・インフラ・設備等の点データ	ESRI Shape、 GeoJSON、CSV	14～18	—
道路・鉄道等の線データ	ESRI Shape、 GeoJSON	11～18	—
都市計画・ハザードマップ（2D）・行政界等の面データ	ESRI Shape、 GeoJSON	12～18	—
人口・索引図等のメッシュデータ	ESRI Shape、 GeoJSON	12～18	人口統計などのExcelデータのみから可視化したい場合は要相談
標準的バス情報フォーマットデータ	GTFS	11～18	shapes.txtがある場合は経路の可視化が可能
建物形状（3次元都市モデル）データ（PLATEAUデータ）	ESRI Shape、 GeoJSON、CityGML	11～18	—
3次元点群（ポイントクラウド）データ	LAS	11～18	別途データの座標系をご連絡ください
3次元建物形状データ※C（株式会社ゼンリン）	—	—	—

※C：（株）ゼンリンの3次元建物形状データは、デジタルシティサービス上での可視化のみの利用となり、データを個別に利用する場合は、別途料金がかかります。

(※1) 一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会 (AIGID)

産官学の関係機関が連携して、サステナブルな社会基盤情報の流通環境整備を推し進めることを目的に平成26年4月に一般社団法人として設立された団体です。

関連 URL : <https://aigid.jp/>

(※2) G 空間情報センター

様々な主体が様々な目的で整備している地理空間情報 (=G 空間情報) の有効活用と流通促進を図ること、また社会課題を解決するアクターの後方支援を行うためのデータ流通支援プラットフォームであり、一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会が運営しています。

関連 URL : https://www.geospatial.jp/gp_front/



(※3) デジタルシティサービス

「デジタルシティサービス」とは、自治体の単位を基本とした各地域の行政を中心とした様々なデータをG空間情報センター上で、保管、管理、可視化(3次元を含む)、API提供等を行っていくサービスです。

関連 URL : <http://www.digitalsmartcity.jp/>



(※4) 東京大学生産技術研究所「デジタルスマートシティイニシアティブ」社会連携研究部門

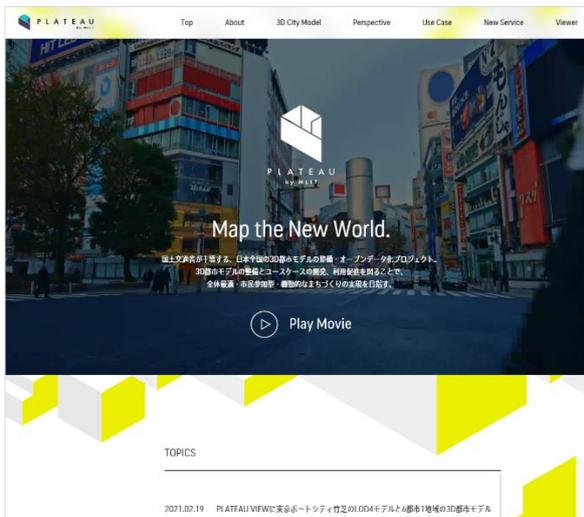
防災、交通、建物、インフラ構造物、地域経済等、都市運営の各分野を見据えつつ、都市情報基盤のグランドデザイン・コンセプトを描き、そのためのデータやソフトウェア等から構成されるデジタルシティを構築し、社会実証を行っていくことを目的に2019年11月立された研究部門です。

関連 URL : <https://dsci.iis.u-tokyo.ac.jp/>

(※5) Project PLATEAU

2020年度から開始された国土交通省が主導する、日本全国の3D都市モデルの整備・オープンデータ化プロジェクトです。3D都市モデルの整備とユースケースの開発、利用促進を図ることで、全体最適・市民参加型・機動的なまちづくりの実現を目指しています。

関連 URL : <https://www.mlit.go.jp/plateau/>



(※6) デジタルスマートシティ研究会

デジタルスマートシティ研究会は、都市計画基礎調査データや多様な動的データ、静的データの有効活用、データを有効活用するための三次元都市モデルによるデジタルツインの実現、デジタルツイン上で実施するシミュレーション等スマートシティ実現に向けた研究を自治体職員や有識者参加のもと実施している研究会である。2020年度から2021年度の2年間にわたり8回の研究会を実施した。

回数	開催日	主な議題	回数	開催日	主な議題
第1回	2020年 6月16日(火)	話題提供 (1) i-都市再生に関する取組 (2) (一社) 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会の取組 (3) 篠野市のデータ・デジタル利活用に関する取組紹介	第5回	2021年 6月15日(火)	議題 (1) アンケート結果報告(都市計画基礎調査のオープンデータ化の検討状況等) (2) デジタルシティサービスG空間情報センターでの3D都市モデル(Project PLATEAU)の公開 (3) デジタルシティサービス実証実験の取り組み状況 (4) BID実証の概要について (5) Next My City Forecast開発 (6) 疑似人流による研究紹介
		議題 (1) デジタルスマートシティ研究会での検討事項について (2) G空間情報センターを踏んだ都市計画基礎調査データの提供・登録状況 (3) 都市計画基礎調査データ提供に関する個人情報等の扱い (4) デジタルシティ基盤に関する考え方について (5) シミュレーションツールとしてのMyCityForecast(詳細版)について			話題提供 (1) 地方公共団体の都市計画・まちづくり部局での地理空間情報の利活用状況(建築研究所・阪田様)
第2回	2020年 9月24日(木)	話題提供 (1) まちづくりのデジタル化の推進について(国土交通省における最近の取組) (2) 研究教育活動での都市計画基礎調査空間データの活用(長岡技術科学大学 松川先生) (3) 地域公共交通に関するデータの利活用に向けて(東京大学伊藤先生)	第6回	2021年 9月28日(火)	議題 (1) PLATEAUデータのG空間情報センターでの公開とデジタルシティサービスのHPの改修 (2) Project PLATEAUにおける都市計画基礎調査のオープンデータ化の状況 (3) デジタルシティサービスの実証実験利用について (4) BID実証の取組状況 (5) デジタル市街地の輪・デジタル裾野の輪の取組について (6) Next My City Forecast開発 (7) 疑似人流による研究紹介
		議題 (1) 都市計画基礎調査のオリジナルデータの扱いについて (2) デジタルスマートシティサービスに関連する取組			話題提供 OpenStreetMapについて(飯田様)
第3回	2020年 12月15日(火)	話題提供 (1) デジタル社会の基盤となるベース・レジストリに関する政府の取組(内閣官房IT総合戦略室 政府CIO 上座補佐官・平本健二氏) (2) 人の生活活動と時空間アクセシビリティ(宇都宮大学 大森先生) (3) 公共交通関連データのMyCity Forecastへの実装に向けて(高野様)	第7回	2021年 12月14日(火)	議題 (1) デジタルシティサービス利用WGでの意見とデジタルシティサービスの改良 (2) BID実証の取組状況 (3) デジタル市街地の輪・デジタル裾野の輪の取組について (4) Next My City Forecast開発 (5) 疑似人流による研究紹介
		議題 (1) 「デジタルシティ」関連プラットフォームについて (2) 都市計画基礎調査データのオープン化の検討について			議題 (1) デジタルシティサービスの試験運用に関するまとめと利用料の改定について (2) BID実証の取組状況に関するまとめ (3) デジタル市街地の輪・デジタル裾野の輪の取組状況 (4) Next My City Forecast開発 (5) 疑似人流による研究紹介 (6) デジタルスマートシティ研究会の総括と次年度以降の取組案
第4回	2020年 3月15日(月)	話題提供 (1) 国土交通省都市局が検討するデジタル化の取組 (2) デジタル・スマートシティ(浜松)の推進(浜松市)	第8回	2022年 3月15日(火)	議題 (1) 都市計画基礎調査データの登録無償化について (2) 来年度の研究会の取組み (3) 「デジタルシティ」関連プラットフォーム開発状況について
		議題 (1) 都市計画基礎調査データの登録無償化について (2) 来年度の研究会の取組み (3) 「デジタルシティ」関連プラットフォーム開発状況について			